

福井ふるさと学びの森あわらエリア第3弾

「自然林と里山林の樹木や山野草を観察しよう！」

- 1 日時：平成27年7月25日（土） 10:00～11:30
- 2 場所：福井ふるさと学びの森あわらエリア 北潟国有林
- 3 参加者：一般県民28名（うち小学生6名、中学生1名、高校生1名）
- 4 指導者：里山里海湖研究所 ふるさと研究員 河田 勝治さん
(あわらの自然を愛する会)

5 内容：

福井県の北部、石川県との県境に広がる北潟国有林は、古くから人の手がほとんど入っていない自然林（原生林）と、人の営みに利用されてきた里山林が混在しています。

その違いについて、ふるさと研究員の河田さんから説明を聞きながら、楽しく森の中を散策しました。



北潟国有林の概要を聞いて
スタート



フランス松の説明



女子サッカーでおなじみ
ナデシコの花



コオニユリの群生



ヤブツバキなどが密集している自然林内部

夏の暑い一日でしたが、里山では海風が心地よくふき、自然林の木陰では明らかに体感温度が2～3度低く感じました。ナデシコやヤブラン、ユリなどの花が暑さに負けず可憐に咲いていました。

《参加者の声》

- ・いろいろな植物がみられてよかった。
- ・歩いて、たくさんの植物にふれあえて、名前をおぼえられた。
- ・めったに見られない草花が見られた。
- ・自然を楽しめた。ブルーベリーを食べたり、葉っぱのにおいを嗅いだり、映像や写真では体験できないことができた。